

拝啓

皆様、こんにちは！ 桜も満開 春だ！春が来た！元気を出しましょう！

日本の景気は最悪の状況ですが、我々はプラス思考で「成せば成る」の精神で頑張りましょう！

ビジネス経営の最前線で頑張っておられる方の役に立つ情報となればと思います。喜んで頂ければ幸いです。

ちょっと役に立つ話

縁を大切にする

小才は縁に出会って、その縁に気づかず

中才は縁に気づきて、その縁を生かさず

大才は袖すれあう縁をも、生かす

あの有名な柳生家の家訓です。

現代でも十分に通用するものと思います。

小才は目の前にどんな素晴らしい出会いがあっても、その良縁にまったく気づかず、盲目的な生き方をして、結果失敗者の人生を送ることになる、といっています。

中才は良縁に気づきます。しかしその出会い、縁を生かすことをしません。

なぜ、仕事関係や人間関係や夫婦仲がうまくいかないか。その原因に気づき、ではどうすれば、仕事や人間関係や夫婦仲がうまくいかないかもわかっているのが中才です。

だが、気づき、わかっているのに、行動しません。

理屈は知っていても、実践に移さないのです。

大才は前向きで積極的で、どんな事柄でも自分の人生のチャンスととらえ、その縁、すなわちチャンスにチャレンジします。

どんなことにもプラスにとらえ、自分のものにし、チャンスを生かします。

成功者は一つひとつの縁を大切にすることだ！……と教えられます。

いまの自分の幸せの大きな要因を作ってくれた人を大切にすることが大事です。

例えば、祖父母、両親、兄弟、友人、恩師、先輩、師匠などいろいろな人との出会いにより、現在があることをわすれてはなりません。先縁尊重とはこのことです。

お世話になった人を大切にすることの姿勢。

自分を鍛えてくれた人や事柄を大切にすることが、次の大きな幸せのご縁の元になるということではないでしょうか。

運命の開拓には2つの方法があると言います。

1つは努力の蓄積。これは能力的知性の成果です。しかし、残念ながら、知識の獲得の効果、執着の弊害があり、自己主張の中に自己の優越を見ることがになり...人材を育てることが出来ません。

もう1つは出逢いを活かすこと。これは思想的知性の成果です。

メンター（人生の師匠）の存在なくして出逢いを活かすことは出来ません。

低い価値観の喜捨の効果、執着の放棄することにより、関係性の中に自己の真価を見ることが。

メンターに育てられた人財がメンターになっていくんですね。

出逢いの感謝です。...「出逢いは人生の宝物」です。